

# 「催眠とイメージ:壺イメージ療法から学ぶ 催眠療法における配慮と工夫」

松木 繁 先生

(鹿児島大学大学院教授 日本臨床催眠学会理事長)

臨床催眠学会では、技法研修会を中心に行って参りましたが、より臨床実践に催眠を活用できるように、さらに臨床催眠を多くの方にご理解いただくために、定期的に様々なスタイルでワークショップを提供していきます。

今回のワークショップでは、我が国独自に発展してきた、「壺イメージ療法」(田嶋, 1987)を基本に、心理療法における「安全の場作り」の技法的配慮と「(イメージに伴う)体験の扱い方」の工夫を学んでいこうと思います。壺イメージ療法は、クライアントが壺というイメージ媒体を用いて、外傷体験を守られた壺の中で体験したり、壺から出てその中に外傷体験や様々な情動などを納め、蓋をして距離を置いたりすることにより、問題を解決していきます。壺という容器が安全弁として機能するため、軽症から比較的重症のクライアントにまで幅広く使うことが出来ます。一見、簡単なフォーマットに見える壺イメージ療法ですが、心理療法における技法的配慮と工夫に富んだ技法であり、その価値は見直されて良いものだと思います。

今回のワークショップを通して、皆様の心理療法の中でよりイメージを効果的に扱う“こつ”や“新たな視点”を見いだしながら、これらの手法を学んで頂けたらと思います。

- 日時：2014年4月27日(日曜日) 9:30~17:00(受付9:00)
- 場所：関西医科大学 「関西医科大学学舎4階中会議室」  
大阪府枚方市新町二丁目5番1号  
<http://www.kmu.ac.jp/access/index.html>  
(京阪本線・交野線「枚方市」駅 北口より徒歩3分)
- 定員：40名(定員となったところで締め切ります)
- 参加資格：医学、歯学、心理学の諸科学を専攻する大学学部を卒業した方、若しくはその大学院(医学部は5回生)学生。
- ワークショップの詳細および申し込み方法：詳しくは下記HPをご覧ください。  
研修会案内：<http://www.hypnosis.jp/event/workshop2.html>  
※3/15までにお申し込みいただくと参加費が割引になります。

主催：日本臨床催眠学会【Japanese Society of Clinical Hypnosis (JSCH)】

学会HP：<http://www.hypnosis.jp/>

学会事務局 連絡先

住所 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

TEL 03-5389-6237 FAX 03-3368-2822